

INTERNATIONAL CENTER

Newsletter Vol. 86

2011年11月
〜
2012年1月号

航空会社	飛行機	出発時刻	行き先	航空会社	飛行機	出発時刻	行き先
CI	161	12:35	台北	KE	907	13:35	東京/成田
EL	4250	12:35	名古屋	AA	5850	13:35	東京/成田
LH	719	12:40	ミュンヘン	KE	901	13:40	パリ
OZ	359	12:40	ソウル	LH	713	13:45	フランクフルト
UA	082	12:40	シカゴ	MU	2018	13:50	威海
CA	172	12:45	天津	OZ	521	13:50	ロンドン
CZ	082	12:45	瀋陽	KE	905	13:55	プラハ
MU	5042	12:55	上海/浦东	SC	128	14:00	青島
KE	069	13:00	大連	OZ	365	14:00	上海/浦东
CA	124	13:05	北京	OZ	114	14:10	大阪/関西
CA	140	13:05	杭州	AI	317	14:15	デリー
KE	041	13:05	青島	CZ	338	14:15	広州
KE	033	13:05	チューリッヒ	KE	789	14:15	福岡
KE	905	13:15	フランクフルト	MH	908	14:15	東京/成田
MU	2034	13:15	青島	OZ	307	14:20	烟台
CZ	088	13:20	長春	KL	066	14:30	アムステルダム
KE	047	13:20	済南	OZ	317	14:30	青島
KE	063	13:20	天津	KE	809	14:55	威海
UA	9696	13:20	大阪/関西	OZ	124	15:00	名古屋
OZ	305	13:20	北京	OZ	000	15:00	福岡



中国語研修

【中国哈爾濱工程大学 / 2011年8月30日(火)～9月24日(土)】

「語学研修報告」第2回目は、中国語研修。今年度の中国語研修は、一年ぶりに哈爾濱工程大学(本学の国際交流協定締結校)において実施された。今回は、参加者全員が一年生ということもあり、非常にはつらつとした研修になった。研修先では、本格的に中国語を学んだ他、現地学生との交流や文化体験、観光などを行った。多くの経験を通じ、一回りも二回りも成長して帰ってこられたように思われる。

参加学生感想文(一部抜粋・修正)

久保田 真伍 Kubota Shingo (電気電子1年)

初めて中国の街を見たときは衝撃でした。平気で道につばやタンを吐く人たちが、交通ルールなんてないかのような道路の状況、うるさ過ぎるほどのクラクション、道に舞うゴミ、ゴミの山から臭う悪臭、野良犬の生殖活動の活発さなどなど初めてのものばかりでもう驚きでした。次に、授業はとても楽しく受けることができました。僕は初級クラスで基礎である発音からしっかり学びました。クラスの雰囲気はいままで日本で経験したことがないくらいみんなが積極的に授業に参加していていい刺激になりました。観光はいろんなところに行きました。なかでもハルビンで有名な観光地である中央大街はロシア建築の建物が並びとてもおしゃれな通りでした。また、いろんな料理を食べました。小籠包、水餃子、マントウ、炒飯、ラーメン、麻婆豆腐、火鍋、豚の手、大きな羊肉、鳥の頭など、中国には美味しい食べ物がたくさんありました。

この研修での1番は他の国の人たちとの交流でした。クラスでは、韓国、ロシア、タイ、パキスタン、モンゴル、アメリカ、アラブ、イギリス、カザフスタンの国々の友達ができ、一緒に勉強して、一緒にご飯を食べにいたりしていい思い出になりました。しかし、他の国の人と話すのにも英語の力が低いことも実感でき、この研修で中国語だけでなく英語の力も伸ばそうと思えました。

若山 浩貴 Wakiyama Koki (機械1年)

三週間の留学を終えて北見での中国語の勉強と中国での授業の内容の濃さの違いに驚きを感じています。やはり本当に実践的な中国語を学ぶなら中国なんだと感じました。中国の先生が中国語のみで授業をするので必死についていこうと聞くことに集中することでリスニング力が上がり、また少人数のクラスなので一人ひとり授業で多くあたるので正しい発音も身につけやすいので、とても効率よく中国語の勉強ができたと感じています。また、クラスで外国のクラスメートとコミュニケーションをとるときは当然英語を使うこととなります。その時にアラブ・中国・タイ・韓国・ドイツ...etcクラスの外国人のみんなはとても流暢な英語をしゃべりますが、僕たち日本人はおよそ中学校から約6年も英語を勉強しているのに、ほんの少ししか英語でコミュニケーションをとれない、なぜだ?と思いましたがすぐに、ああ日本と外国ではかなり語学教育の質の差があるのだと悟りました。

外国の友達と少ない英語力でなんとかコミュニケーションをとっていましたが、やはりもっと深く相手を理解するには自身の英語力、もしくは中国語の力を底上げなくてはならないなと思い帰国した現在でも二つの外国語を同時進行で勉強中です。次回、留学のチャンスがあれば今回よりもっと話せるようになってより収穫の大きいものにしたいです。



本原 五月 Motohara Satsuki (機械1年)

中国研修で私が得たことは大きく3点ある。1点目は人との交流だ。本当に多くの人と関わり、多くのことを話し、多くのことを知った。住む場所、育ち方、国、言葉、様々な違いから価値観の違いが生まれる。その価値観のぶつかり合いが続き、興味を抱き、理解が深まっていく、その一連の流れが体を持って感じる事ができた。2点目は学ぶ姿勢だ。日本にいると義務教育という概念が大きく、高校までは特に何もせずに進学してきた。大学へも行きたいという希望があれば大体は行くことが可能だ。しかし中国で様々な国から来た留学生と勉強していく中で、彼らの勉学に動く姿に、今までの自分が恥ずかしくなる思い出していた。3点目は自分の将来について考えたことだ。中国では様々な職業を持った中国人や留学生と関わる事ができた。それ程将来について考えていなかった私にとって、仕事を持った大人、それも外国人の意見を聞いたことは大きな出来事だった。

3週間という短い期間であったが、それ以上に充足感に満ちた日々であった。何事も自分から進まなければ始まらないし、終わらない、続かない、進まない、改めてそのことを知った。私が中国研今回の研修で得たことを今後の将来の選択に生かすことができればと思う。



堀田 尊 Hotta Takeru (バイオ環境・マテリアル1年)

研修への参加理由は、海外に行ったことがなかったので自分の視野を広げるためと最近注目されている中国がどのような国なのか興味があったからです。最初行く前は、中国はテレビや新聞で見るイメージしかなく、実際のところ悪いイメージしかありませんでした。実際三週間留学してみると悪いイメージはほんとに一部の物、人だとわかりました。それ以上に中国の人の親切さや温かいところに触れてとても良いところだと思いました。中国の生活は、夕方までは大学で学びそれから街に出かけるという生活を送っていました。授業は留学生専用のクラスで他の国の人たちと一緒に基礎的なことから勉強しました。始めは緊張や自分の英語が通じるのかなどの不安があり、なかなか他の国の留学生のなかに話しかけられませんでした。勇気をもって話かけても自分の話していることを理解してもらえず苦労しましたが、筆談やジェスチャーを使って話かけているうちに理解してもらい、だんだんとクラスの人たちと打ち解けることができました。

放課後や休みの日には中国の街に出かけてみたり、クラスで仲良くなった留学生と食事をしたりといろいろなことをしました。しかし、街に出ると英語が通じないのでとても苦労しました。自分の欲しいものが買えるときもあれば、ぜんぜん違うものが出てくることもありました。けれどそれは日本では絶対経験できないことなのでとても新鮮で楽しかったです。



本間 幸広 Homma Yukitaka (機械1年)

今回の中国での語学研修で私は本場で中国語を学ぶことが出来ました。日本で学ぶときよりも緊張感もありとても有意義な学習をすることができました。中国本場で学んだ中国語は会話力のレベルを上げることを重視したものでした。そのためこの三週間の間で中国語の会話力は大きく成長しました。日常生活で学んだばかりの中国語を活かしたときはとても気持ちよかったです。これを期にさらに自分自身でもっと中国語に磨きをかけたいと思いました。また中国という国自体をこの研修で少し知ることが出来ました。今までは日本の中でしか中国という国を知ることが出来なかったためほとんど一つの視点でしか中国を知ることが出来ませんでした。この研修で今までとは違う視点で中国という国について知ることも出来ました。逆に中国という視点で自分の国である日本を見たときも、日本にいるときに見た日本とは大きく違ってみることも出来ました。

この語学研修はただ語学を学ぶだけでなく、その国の価値観や文化などに直接触れるいい機会にもなると思いました。そして直接その国にいる人と話し、共に語学を学ぶ外国の留学生と会話することにより交流の輪を大きいものにしていくのもとても有意義です。いずれそうして築かれた交流の輪は将来何かしらず役に立つものがあるはずだ。

研修内容と費用:

- ①学習時間: 週22時間(月～金)
- ②課外活動: 大連市内見学・ロシアンショー・中央大街・聖ソフィア教堂・太陽島・東北虎林園
- ③学生交流: 哈爾濱工程大学日本留学予定者・日本語履修者・東北林業大学
- ④参加費用162,879円(実質自己負担は5万円:補助金11万円が支給されたため)





【常呂町カーリングホール / 11月19日(土)】

毎年恒例のカーリング体験が、今年度は11月に実施された。参加者は北見市民の他、本学より留学生21名も参加して行われた。当日は8グループ(各チーム6名)に分かれ、午前中はカーリングの練習、午後は試合を行った。留学生の多くが初めての体験で、新鮮味があったものの、ストーンを押し出す力加減や姿勢など、慣れるまでに時間を要した学生が多く見受けられた。時間と共に習得し、その後は順調に試合ができるまで上達した。カーリングの面白さについて中国人留学生の彭晶蓉さんは、「相手チームのストーンを枠の外に押し出し、相手に点数を与えない点」と話していた。会場では、皆一喜一憂しながら、ゲームを楽しんでいたように見受けられ、試合では、本学の留学生チームが一位に輝いた。膝にあざができた学生もいたものの、皆楽しくカーリングを満喫できた一日であった。

【講堂 / 11月29日(火)】

2011年度 短期語学研修及び短期留学報告会
 -異文化体験で視野を広げ、国際人への一歩を踏み出す-



総合工学Ⅱの時間を頂戴し、「英語、ドイツ語、中国語短期語学研修及び韓国、フィンランド・ポーランド短期留学報告会」を実施した。当日は、鮎田学長及び高橋理事(兼国際交流センター長)にもご出席いただき、報告会を催すことができた。報告会では、冒頭、鮎田学長よりご挨拶を頂戴し、これまでの本学における国際交流協定締結までの経緯や留学の意義について語られた。その後、報告会は第一部で荒谷講師による「海外研修の機会」について留学先などについて説明が行われた。第二部では、短期語学研修の報告が行われ、コーディネーターを担当された許斐准教授が学生へ質問する形式で行われた。その中で、文化の違いや各自得たことなどを話してもらい、聴いている学生達も真剣に話に聞き入っていた。第三部では、韓国とフィンランド・ポーランドで留学を経験した学生二名が登壇し、スライドを使って説明が行われた。そのうち韓国留学者の瀬田さん(大学院2年)は、「大学時代、色んなことに挑戦してほしい。勉強、サークル、ボランティアを始めるのもいいし、やりたいことや野望があれば、ぜひ実行してほしい」と語っていた。留学を経験した学生達の生の声は、非常に説得力のあるメッセージとして他の学生へ伝わったのではないだろうか。



【ノーザンアークリゾートスキー場 / 1月6日(金)】

今年は穏やかな天候の下、留学生42名と本センターの教職員が参加し、スキー研修が行われた。スキー場に到着後、レベル別に三つのグループに分かれ、それぞれインストラクターの指導を仰ぎながら研修が始まった。初級者のグループでは、午前中スキーの基礎(雪の上での歩き方、止まり方、曲がり方等)を約1時間半しっかり学習し、午後からようやくゲレンデデビューを行った。初めてのスキーということもあり、はじめはスピードに慣れず、何回も転んでいた学生がいたものの、回を重ねるごとに各自感覚をつかめるまで上達していた。中国人留学生の季光輝さんは今回の研修について、「なんとか滑ることができた。約10回滑り、滑り終わったころには疲れは感じなかったが、帰宅後疲れがどっとでた」と話していた。また、インストラクターの方々も親切に対応してくれたため、学生たちの呑み込みも早く、楽しくスキーを滑ることができたようである。ただし、日本人の研修風景とは異なり、話を聞かず(日本語が理解できず)実際に滑りながら覚えていくといった学生も中には現れ、文化の違いに気づかされた。



北見市内の小中学生と本学の中国人留学生(5名)が参加し、書初め大会が行われた。留学生は、当日課題をその場で選び、数十回練習を行った後、清書を行った。本学留学生の課題は、「世界平和」(季光輝)、「希望早春」(彭晶蓉)、「正月風景」(斯琴塔娜)、「輝く朝日」(梁世陽)、「中国」「愛」(李冬芹)であった。練習時間では、一度学生が書き、その後、当日会場にいた先生達が手ほどきで指導を行ってくれた。そして、十数回ほど練習を行った後、最後に清書を行った。今回参加した中国人留学生は、字体について、「同じ楷書でも、中国の字体とは違いがあるように思えた」と話していた。しかし、字体は違っても、書を通じて交流ができることは非常に意義のあるものではないだろうか。



11月 「日本の『こなもん』文化」【11月25日(金)】

富士教授(機械工学科)を講師にお招きし、「たこ焼きづくり」を行った。留学生は皆初めての体験だったため、作るのに苦戦していたが、徐々にきれいな丸い形に仕上げれていた。富士教授のユーモアある説明を聞きながら、留学生たちはたこ焼きづくりに没頭し続けていた。



インターナショナルCアワー

12月 「インターナショナルコンサート」【12月16日(金)】

前半、後半の二部構成で行われたインターナショナルコンサートは、多くの方々に足を運んでもらい、盛大に開催することができた。今年は、留学生のダンス、ピアノ、歌の披露に加え、本学教職員の子供たちも参加しての催しとなった。一年間の締め括りに相応しいすばらしいコンサートとなった。



2012 CALENDAR

SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI
1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27 交流研修
1/28	1/29	1/30	1/31 アワー	2/1	2/2	2/3
2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9 修了式	2/10
2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24
北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流水」						

今後の予定

- 1/27 ~ 2/5 中国医薬大学(台湾)短期交流研修
於: 本学
 - ♥ 1/31 インターナショナルCアワー「巻き寿司」
於: ミーティングルーム2 16:30-18:00
 - 2/9 短期留学生修了式
於: ミーティングルーム2 16:30-18:00
 - 2/19 ~ 24 北方圏国際シンポジウム
「オホーツク海と流水」
於: ミーティングルーム2 16:30-18:00
- 3月上旬 留学生の夕べ